

あ ま か け
天 翔 る 竜

3年 最終号

～浜松市立清竜中学校第3学年学年通信～

発行：令和 5年 3月15日

感動の卒業式で「有終の美」を！

昨日、公立高校の合格発表がありました。合格を勝ち取り、笑顔で再登校する姿を見て、こちらまでうれしくなりました。また、残念ながら不合格となった生徒も、併願校である私立高校への進学を決め、「そこで頑張る」という返事を聞き、安心しました。

お子さんは、どのような高校生活をイメージしているのでしょうか。部活動に汗を流す姿、大学進学を目指して授業や課題に真剣に取り組む姿、広がった交友関係で学校行事を楽しむ姿…。そのイメージが具体的であればあるほど、素晴らしい高校生活のスタートを切ることができると思います。

しかし、合格することが目的となっていた生徒は、その目的が果たせたことで、次の目標を持つのが遅くなり、つまらない高校生活になってしまう傾向があるようです。高校は、義務教育ではありません。何よりも高校が問題にするのは、出席日数です。また、欠課（授業に参加できない時間数）です。授業に参加した時数が足りなければ、進級できなかつたり、退学させられたりするのです。また、校則も厳しくなります。お子さんが選んだ学校のルールですから、しっかり守れるよう言葉掛けをお願いします。

そして、何より高校の1日の生活のほとんどは、「授業」だということです。

「自分を磨くための勉強」「他の人の役に立つための勉強」をし、高校生活が輝いていることを期待します。

最後に「どうする家康」で瀬名役を演じている有村架純さんが、芝浦工業大学付属高等学校の卒業式に招待され、その時に卒業生に送った言葉を紹介します。

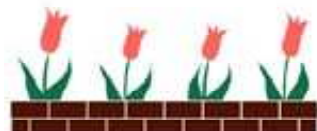
ありがとうの数だけ人は優しくなれる、
ごめんねの数だけ人は賢くなれる、
さようならの数だけ人は愛を知る。

御卒業おめでとうございます。



明日で今年度の全ての教育活動が終了します。様々な場面で、保護者の皆様の御支援・御協力をいただき無事に終わることが出来ます。心より感謝申し上げます。

学年主任としては、3年間のお付き合いとなりました。生徒と温かく関わり、生徒を前面に出した教育活動を推し進めてきたつもりですが、反省することばかりでした。卒業後の生徒たちの御活躍を期待し、筆を置きます。



～お知らせ～

☆明日、卒業式の保護者受付時に、学生協出資金一人100円を現金で返還いたします。御確認にいただき、名簿に署名をお願いします。

☆合格した高校のガイダンス等のために、高校に出向く時があると思います。日時等間違えることなく、お出掛けください。また、中止やマスクの着用等の連絡がありましたら、その指示に従ってください。

☆清竜中学校では、ジャージ（校内服）を忘れた生徒のために、ジャージの貸し出しを行っています。処分を考えているジャージで、傷みの少ない物がありましたら御提供いただけると助かります。回収は3月いっぱい生徒昇降口で行います。